



卒業後も実業団で柔道を続ける2人。「一つひとつの大会を大切に、出る大会すべて優勝できるよう、1つも落とさない!という気持ちを大切に頑張ります」(福田さん④)「全日本柔道選手権大会に出場し、日本一を目指して頑張ります」(吉野さん⑤)

福田大悟さん60kg級優勝、吉野弘人さん90kg級3位

祝!

柔道部 全日本学生体重別  
選手権大会30年ぶりに優勝

羽ばたけ  
大空へ

財団  
新聞

この新聞は公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団の支援を得て鹿屋体育大学の学生及び関係者の活躍・動向等をお知らせしています。

編集：鹿屋体育大学

発行：公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

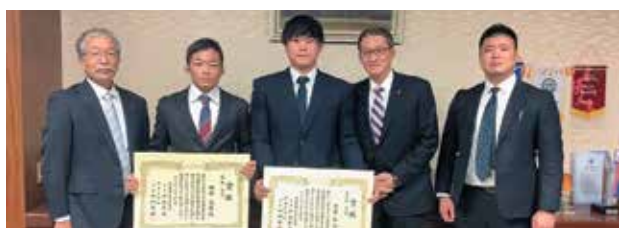
編集責任者：鹿屋体育大学長

発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬

財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827（直）

令和3年11月25日、26日の2日間、千葉ポートアリーナで「2021年度全日本学生柔道体重別選手権大会」(男子40回/女子37回)が開催され、鹿屋体育大学柔道部の福田大悟さん(武道課程4年、比叡山高等学校・滋賀、兵庫県出身)が60kg級で優勝、吉野弘人さん(同4年、延岡学園高等学校・宮崎、鹿児島出身)が90kg級で3位に輝きました。本大会での優勝は1991年に当時3年生だった原田堅一さん以来、実に30年ぶりになります。開学40周年の記念すべき年に、柔道部が輝かしい実績を残してくれました。中村勇監督、小崎亮輔コーチとともに松下雅雄学長に報告を行いました。

令和2年の大会が新型コロナウイルスの影響で中止となり、4年生の2人にとってラストチャンスとなった今大会。福田大悟さんは決勝戦で高校時代になかなか勝てず、ずっとライバルだった東海大学4年の市川龍之介さんと対戦し、高校時代のリベンジを果たして悲願の日本一の座を手に入れました。福田さんは「一番うれしかったのは、鹿屋から日本一になれることを証明できて後輩たちに希望を与えることができたことです」と、優勝の喜びを口にしました。松下雅雄学長は「OBの活躍は現役の学生の頑張りにもつながるので、卒業後も現役と卒業生が一緒になってオール鹿屋で盛り上げていってほしい」と激励しました。



左から松下学長、福田さん、吉野さん、中村監督、小崎コーチ

地方の大学から日本一を目指して鹿屋体育大学に入学してきた福田さんは、「柔道が強い大学は関東にあるのに、どうして地方の大学を選んだの?」と聞かれるのがとてもうれしかったそうです。「日本一を実現させるのは自分」と心に誓い、柔道部の仲間もライバルだと思つて切磋琢磨しながら過ごしてやっとなげた夢でした。

柔道部の主将を務める吉野さんは「高校3年生のときに東京の大学から声がかかっていたのですが、自分も鹿屋から日本一を目指したいと思つて鹿屋体育大学に入学しました。今回全力を出し切つて3位だったので、この結果が今の自分の実力なのかと感じています。次の講道館杯では優勝できるように頑張ります」と早くも次の大会への意欲を見せましたが、1月に予定されていた講道館杯はコロナの影響で延期になりました。

2人が2年生の時に前任の顧問教員から引き継いだ中村勇監督は「柔道部には自主性、主体性のあるメンバーがそろっており、ほついても練習をするいいチームがすでにできあがっていたので、その流れを受け継いで崩さないように、余計なことはなるべくしないように心がけてきました。コロナや武道館の改修工事で施設を使えない時期もあった中で、学生たちはよく辛抱して頑張ってくれました」と評価しました。

小崎コーチは「本学の柔道部員は柔道が本当に好きだというメンバーがそろっています。私自身も研究や指導に対しての努力を絶やさず、部員の要求に応えられるようにしていこうと思います」と話しました。

男子柔道部は2021年度九州学生柔道体重別選手権大会ですべての階級で1位を獲得するなど著しい活躍を見せています。松下学長は「柔道部は現在、小澤部長兼顧問、中村監督、小崎コーチとそれぞれに特色のある指導者が3人もそろっているの、今後もしっかりとリードしていっていただけたらと思います」と、柔道部のさらなる活躍に期待を寄せました。

「小澤雄二部長兼顧問のコメント」

この2年間、コロナでほぼすべての大会が中止になり、力を試すことができませんでした。これまで地道に練習を積み重ねてきた成果を、4年生最後の今大会で発揮できて本当によかったです。

スポーツを愛する  
すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、  
スポーツの振興・普及を目指し、  
スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人  
ミズノスポーツ振興財団



## 卒業生インタビュー



女子バレーボールアナリスト  
ミズノ株式会社  
19期生 新村 薫さん

### 【プロフィール】

しんむら・かおる。1984（昭和59）年1月5日、鹿児島県生まれ。鹿児島県立指宿高等学校から、鹿屋体育大学体育・スポーツ課程に進学。2006年3月、卒業。久光製薬スプリングスアナリスト、女子日本代表アナリスト等を経て、2017年からミズノ株式会社所属。

バレーボール女子日本代表中田久美監督の右腕といわれたのがアナリストの新村薫さんだ。久光製薬バレー部の快進撃を支え、中田監督とは9年間苦楽を共にしてきた。「私、もともと運動が得意ではないんです。こう切り出されて一瞬我が耳を疑った。聞けば鹿屋体育大学の入試実技試験ではバレーボールのジャンプサーブでしりもちをつき、メデイシンボール投げではおでこを床にぶつけたという。それでも入学できたのはセンター試験の成績が良かったからだ」と新村さんは笑う。大学では実技を10単位取らなくては行けないが、縄跳びの二重跳びもうまくできず、さらには鉄棒の逆上がりもできず、夏休みの補習を受けてようやくできるようになったそう。運動が苦手だったにも関わらずなぜ体育大学だったのか。

出身は同じ鹿児島県の指宿高校。文化祭が終わったようだった。鹿屋体育大学のバレー部は強豪だ。練習ではチームの脚を引っ張ることが多く、すぐコートの外に出されてしまう。2年生の時に見るに見かねてか濱田幸二監督が「こういう役割もあるぞ」と厚さ3センチほどのある英語の本を手渡してくれた。それは当時発売されたばかりのPC版アナリスト用ソフトのマニュアルだった。それまでも部のホームページ作りなどPC周りの仕事を一手に引き受けていたこともあり、PCを使うことには抵抗はなかった。分厚い辞書のようなマニュアルを移動時間も辞書と首つ引きで読み始めた。PCを片手に打ち込みながら、エラーで画面が真っ赤になる部分が少しずつ少なくなっていくのが快感になっていく。大学の学外実習でもそのソフトの代理店に一週間通い、これを仕事にしたいと心から思うようになる。こうして女子バレーボールアナリストは独学で技術を習得していく。

2006年大学を卒業して6月から久光製薬に就職する。当時はアナリストという職種がそれほど知られていなかったこともあり、サブマネージャー兼務としての採用だった。当時のバレー部の監督は後に日本代表監督となる眞鍋政義さん。新村さんは練習や試合を見ながら、ボールに触れた選手全員のアクションをただひたすら打ち込んでいった。iPadを片手に試合で指示を出す眞鍋監督のデータバレーを久光製薬時代に支えたのが新村さんだったのだ。眞鍋監督が日本代表監督となった時には残念ながら新村さんは呼ばれず、それを機に彼女はアゼルバイジャンのナンバーワンチームで武者修行を重ねることに。2012年中田久美監督が久光製薬に着任すると同時に呼び戻され、Vリーグでの久光製薬の大活躍を支える。その力量が認められ、中田さんが日本代表監督となると同時にアナリストとして日本代表チームと呼ばれることになる。スポーツは今や情報戦だ。選手と監督だけでは勝てない。世界の9割が同じソフトを使っているだけデータを集めて同じようなデータを集めているだけに、いかにデータを分析してどう利用

していくかが大切になる。新村さんはやるべきことはすべてやってきたと言う。しかし、振り返るとコロナ禍によるオリンピックの1年延期の影響も受けたのは女子バレーボールだったかもしれない。故障やベテラン選手の引退など計算外のことが起きて不運としか言いようがないほどの状況となった。東京オリンピックは一次リーグ敗退に終わった。

結果についてはこなかったが、悔いはない。高校時代に合った衝撃、大学で渡された一冊の本、そして独学から実業団へ、さらに日本代表のアナリストへ。異色の鹿屋体育大卒業生は一生懸命の情熱を握りしめながら東京オリンピックまでの道を駆け抜けてきた。（スポーツ文化ジャーナリスト 宮嶋泰子）



中田監督の右腕といわれた新村さん

## 卒業生の原田小夜子さん セーリングのレーザー全日本選手権 で優勝!!

昨年11月20〜23日、山口県スポーツ交流村で開催された2021 Laser All Japan Championshipsのレーザーアルクラスにおいて、鹿屋体育大学卒業生の原田小夜子さん（平成22年卒23期生、長崎県出身）が優勝しました。原田さんは本学卒業後、長崎県のスポーツ協会やいくつかの実業団等における活動を経て、2020年度から鹿児島県スポーツ協会の強化指導員として本学の附属施設海洋スポーツセンターを拠点に活動しています。

新型コロナ感染症の影響のため、原田さんにとっては1年振りの大会出場で、楽しみと不安の交錯する複雑な心境で迎えた大会でした。通常50艇ほど参加のところ、今回は69艇での一斉スタートとなったことから、原田さんは「スタートが勝負、スタートから攻めていこう」と臨んだことが功を奏した一因かもしれない。3日間で6レースをこなす中で、途中からはレースができること、大会に出場できることは本当に楽しいと思いが、本気で滑走しました」と優勝の勝因を話してくれました。

大学時代は、同じ学内に競技種目は違ってもオリンピックや全日本レベルで活躍するようなトップアスリートがいて、彼らの存在が憧れであり、モチベーションに繋がっていたこと、大学から車で10分位で海洋スポーツセンターへ移動できたため、空き時間も練習することができたことがとても良かったと当時を振り返りました。また、「卒業して外からみると、鹿屋体育大学の海洋スポーツの環境の良さを改めて知ることができました。東京2020オリンピックへの出場は叶わなかったけど、そのこともコロナでかしま国体が延期されたことも全てが今の私を育ててくれて、再び鹿屋体育大学に導いてもらえ、今回の優勝に繋がったと思う」と全てをプラスに捉えながら競技に真摯に向き合う素敵な姿がうかがえました。

そして今、学生の頃憧れたトップアスリートの一人になった自分の役割として、2023年のかごしま国体を大きな目標として活動・強化しながら、一緒に練習している学生や、土日指導している高校生にとっても憧れの先輩となれるよう、自分もまだまだ強化、前進していきたいと競技者としての目標と指導者としての目標も話してくれました。



自宅・アルバイト先

自動車学校

学校・寮

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎  
忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う  
**寿自動車学校**

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]  
ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

心にしみる...

**小鹿酒造株式会社**

鹿児島県鹿屋市香平町上名7312番地  
TEL0994-58-7171 FAX0994-58-8363  
http://www.shochu-kojika.jp

お酒は20歳を過ぎてから。

汲取の御注文  
浄化槽の管理

**N**

水質保全に  
全力投球

鹿屋市許可 株式会社 西日本浄化サービス

代表取締役 田中ふみ子  
鹿屋市王子町4531-2  
TEL(0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社**レモンガス**かこしま  
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1  
0994-42-2181



1月8日に鹿屋市体育館で鹿屋市体育協会主催の「けいこ始め式」があり、令和3年度における各競技団体の功労者の功績を称えるための表彰式が行われました。今回の表彰式は、令和3年に開催予定で中止になった「三重とこわか国体」出場候補選手への「特別表彰」も併せて実施され、本学関係者も多数表彰されました。

主な受賞として、永年にわたり体育協会の加盟団体としての運営及びスポーツの振興に取り組む、鹿屋市の社会体育まはたはスポーツの振興に顕著な貢献があった「体育功労者」にバレーボール部顧問の濱田幸二教授、「優秀スポーツ選手」はボート競技選手として令和3年度国民体育大会第41回九州ブロック大会（成年女子ダブルスカル）1位の成績を収めたスポーツ総合課程4年の谷口智佳子さんが受賞しました。



受賞者代表の挨拶をする濱田教授



表彰状を受け取る谷口さん



決意表明をする坂口さん

「けいこ始め式」は、主催者や来賓からの激励の言葉を受け、式の最後には、本学海洋スポーツセンター専門職員の坂口陽平さんが「競技種目はさまざまですが、35競技団体が競技力の向上やスポーツの振興に努め、みなさまにスポーツの感動を与えられるように精進して参ります」と声高らかに決意表明しました。

## 令和4年鹿屋市体育協会「けいこ始め式」 濱田幸二教授ら本学関係者が多数表彰

昨年、鹿屋市体育館で開かれた第39代体育会会長に秋葉笑里さん（武蔵課程2年、川辺高等学校・鹿屋市）が就任し、38代会長の安次嶺さん（武蔵課程3年、首里高等学校・沖縄）からバトンが渡されました。秋葉さんに今後の抱負について伺いました。

「鹿屋体育大学に進学しようと思ったのは、秋葉さん7つ上の姉が高校からなぎなたを始めて、



### 第39代体育会会長に 2年生の秋葉笑里さん

「鹿屋体育大学に進学しようと思ったのは、秋葉さん7つ上の姉が高校からなぎなたを始めて、

「38代会長の安次嶺さんはジャンケンに負けたら、と言っていました。秋葉さんは、ジャンケンに勝つて会長になりました（笑）。最初にやりたい人を募ったのですがだれも

「会長に就任して今後の抱負を教えてください。秋葉さん、私たちが入学したとき、先輩たちと川辺で一緒に練習したり交流したりする機会がよくあって、とてもかっこよくて憧れの存在でした。私も鹿屋に行きたいという思いが年々増え、受験しました。

「いな。安次嶺さんはジャンケンに負けて会長になったというのがずうとイヤだったらしく、今回は2年生全員が安次嶺さんとジャンケンをして私が最後まで残りました。」

「最初にやりたい人を募ったのですがだれも

「38代会長の安次嶺さんはジャンケンに負けたら、と言っていました。秋葉さんは、ジャンケンに勝つて会長になりました（笑）。最初にやりたい人を募ったのですがだれも

「いな。安次嶺さんはジャンケンに負けて会長になったというのがずうとイヤだったらしく、今回は2年生全員が安次嶺さんとジャンケンをして私が最後まで残りました。」

「いな。安次嶺さんはジャンケンに負けて会長になったというのがずうとイヤだったらしく、今回は2年生全員が安次嶺さんとジャンケンをして私が最後まで残りました。」

## 「Webオープンキャンパス」 ～リモートで鹿屋体育大学を紹介～

1月23日、今年度3回目となるWebオープンキャンパスが開催されました。本学のアドミッションセンターが主催し、コロナ禍の影響や遠方在住につき、なかなか本学に見学に来れない受験生に少しでも本学のことを知ってもらおうと、毎年7月と10月に開催されている大学説明会とは別に、昨年度からの内容を変えて企画されたものです。

第1部では、学部・課程の紹介や体育施設の紹介、入学試験の概要などについて、第2部では、学生生活や就職・資格取得、課外活動について、事前に収録した動画を中心に説明が行われました。第3部では希望者のみを対象にした個別相談が行われ、対応したアドミッションセンター教員へ熱心に質問している様子が見られました。

今年度最終回となる第4回は3月13日に開催されます。お申し込み・お問い合わせはこちらまで。



<https://www.nifs-k.ac.jp/entrance/open-campus/briefing.html#anc2>

## 令和3年度定年退職教員の紹介

鹿屋体育大学を令和4年3月31日付で定年退職される教員は以下の通りです。木葉准教授の専門分野は「バスケットボールの技術指導及び審判指導」で、平成24年9月の着任時から女子バスケットボール部部長・監督としてチームをインカレに導くなどご指導をいただきました。2月14日には「私の籠球人生におけるターニングポイント」の演題でLIVE配信による最終講義が行われました。長年にわたる教育・研究、課外活動へのご尽力、誠にありがとうございました。



氏名	所属・役職	本学の在職年数
木葉一総	スポーツ・武道実践科学系 准教授	9年半

## 課外活動団体紹介



陸上競技部

私たち陸上競技部は今年で創部36年目を迎えました。昨年度の競技成績は、日本陸上競技選手権大会で1名入賞、

日本学生陸上競技対校選手権大会（日本IC）で3名入賞、日本学生陸上競技個人選手権大会で3名入賞、また全日本大学女子駅伝では総合20位という結果でした。その他の各大会においても上位入賞者を輩出するなど、鹿屋体育大学の名を全国にアピールすることができたと思います。しかしこの結果に満足することなく、さらなる好成績を目指して日々競技に取り組んでおります。

現在、陸上競技部は部員数76名で活動しています。今年はコロナウイルス感染症の影響により、練習環境の制限で選手達が思うような練習が取り組めていない状況ではありますが、目標をもって取り組み、日本ICや九州ICなどで自己新記録を更新できるように、部員同士で協力し合い、切磋琢磨しながら競技力向上を図っています。

毎日の練習は今の現状コロナ禍のため感染対策をしつつ各自での活動ではありますが、この状況で自分に今何が必要なのかを考えながら工夫して練習を行っています。今後の大きな試合は、9月に京都で行われる日本ICです。日頃からご支援・応援いただいている皆様に結果で恩返しできるよう頑張ります。今後ともご支援・ご声援のほどよろしくお願い致します。

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る  
**SUGOHAKU**  
【厚感デジタル加飾システム】  
視覚と触覚で感じる  
**薄紙**  
印刷物へ新たな付加価値を  
厚感クリアースの上に箔を貼ることで、盛り上がった立体的な箔加工が可能になりました。従来の箔押しと一線を画したグラマラス感のある仕上がり。  
ヒューマン印刷に特化する  
**株式会社新生社印刷**  
鹿児島県鹿屋市元1丁目22-34  
TEL 0994-43-2238  
URL <http://www.shinsei-p.co.jp> E-MAIL [kan@shinsei-p.co.jp](mailto:kan@shinsei-p.co.jp)

Kubota 農業機械  
株式会社  
**三木商会**  
<http://www.mizuho.kubota.ne.jp>  
TEL 893-0009  
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号  
TEL (0994) 43-4178  
FAX (0994) 44-9371  
【営業所】  
鹿屋・高山・志布志・岩川・  
牧之原・野方・垂水・大根占

すべての消費者のために!!  
**MOVE**  
It's your future  
**寿スポーツ**  
鹿児島県新川町603-2  
TEL 0994-44-2123

まっすぐに。正直に。  
**大波酒造株式会社**  
TEL 893-0016  
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号  
電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950  
〇飲酒は20歳になってから。  
〇飲酒は楽しく、適量を。  
〇妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。  
〇飲酒運転は法律で禁止されています。



